

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.211)

1. 新たに安全監視委員になられた方の勉強会が開催されました

10月21日(木)、当事業所において豊田市主催の豊田市PCB処理安全監視委員勉強会が開催され、10月3日(日)から新しく委員になられた3名の方が出席されました。勉強会では、当事業を紹介するビデオをご覧いただいた後、豊田市廃棄物対策課から安全監視委員会や高濃度PCBの処理の枠組み、高濃度PCB廃棄物の収集運搬などについて説明されました。その後、見学通路からの施設視察が行われました。

「豊田市PCB処理安全監視委員会」は、市民参加による操業の監視とリスクコミュニケーション推進を目的として、平成15年に豊田市により設置されました。当委員会は周辺自治区等市民代表(9名)、周辺企業代表(2名)、学識経験者(4名)の委員15名で構成されています。平成30年度には、PCB廃棄物の期限内処理の完遂に向けて、オブザーバーが強化され、それまでの愛知県、岐阜県、静岡県、三重県に加え、岐阜市、静岡市、浜松市、名古屋市、豊橋市、岡崎市が参画されました。また、令和3年度には一宮市が新たに参画されました。



視察時の質疑応答では、施設の稼働の状況や処理の進捗状況や未把握のPCB廃棄物の状況、そして作業員の安全管理についてご質問をいただき、それらに対しご説明しました。

2. 総合防災訓練の実施

火災の発生時に被害を最小限に止め、事業所全従業員の安全確保と火災の延焼防止を図る目的で、豊田市南消防署西分署のご協力をいただき、10月27日(水)に総合防災訓練を実施しました。

防災監視設備の訓練発報に始まり、正門前ピロティへの緊急避難、防災対策本部及び現地指揮本部の設置、119番通報、人員点呼、負傷者救助、自衛消防組織による初期消火活動を展開しました。公設消防隊(豊田市南消防署西分署)との合同訓練による消火完了後の鎮火確認に至るまで、実践さながらの有意義な防災訓練となりました。



また、負傷者を公設消防救急隊に引き渡し、救急搬送する訓練も併せて実施しました。

訓練後に反省会を開催し、公設消防隊の目に映った改善のための貴重なご意見を頂きました。今後は、それらの意見を反映し、防災体制の更なる強化に努めていきます。

3. 交通安全街頭活動に参加しました

9月22日(水)に豊田市の「秋の交通安全市民運動」に参加しました。

豊田PCB処理事業所からはJESCO、運転会社の社員約20名がのぼりやタスキ、ハンドサインなどを掲げ、ドライバーに『安全運転』『ゆっくり停止・発進』などを呼びかけました。屋外での活動ですが、3密とならないよう、互いに距離を取りつつ、マスクを着用して実施しました。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

